

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E142J008		絵画演習 (Seminar of Making of Pictures)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
選択	2	4	教育学部 平成31年度以前入学生 用			氏名 久間 清喜 E-mail kkuma@oita-u.ac.jp 内線												
授業の概要	前半には与えられたテーマに従って作品制作。後半では各自でテーマを設定し制作を行う。テーマの決定からエスキースを通じて自己のイメージを明確にするプロセスを重視し、素材、発表形態など絵画表現について総合的に検討する。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 現代の絵画表現についてテーマや技法を理解し説明出来る。																		
目標2 テーマを自由に検討し、それに従った制作プロセスを計画できる。																		
目標3 自己の表現に適した技法、素材を決定し制作ができる。																		
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 地と図について																		
2 地と図をテーマとしたドローイング																		
3 地と図(色彩による)																		
4 地と図(コラージュによる)																		
5 作品鑑賞会																		
6 現代美術における絵画表現																		
7 現代絵画のテーマについて																		
8 現代絵画の素材																		
9 現代絵画の技法																		
10 素材の応用																		
11 作品の発表方法																		
12 展示法の開発																		
13 作品記録																		
14 展覧会発表会																		
15 作品ファイル鑑賞																		
ラーニング ポイント ニテ ンイ グ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	テーマの決定から作品のイメージを明確にするプロセスでは各自が数回プレゼンテーションを行う。学生間での議論を通して考察を深める。					工 夫 そ の 他 の											
時間外学修 の内容と時間 の目安	準備 学修	授業で学習する内容について参考になる作家、作品など事前に調べる。(5h)																
	事後 学修	作品制作や発表会では授業時間内だけでは完了しないことがある。必要に応じて時間外学習・制作が必要となる。(20h)																
教科書	適宜プリントを配布する。																	
参考書	適宜プリントを配布する。																	
成績 評価 の 方法 及び 評価 割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10						
	作品制作	70%																
	作品発表	30%																
注意事項	作品制作に必要な道具は教室で準備するが、作品の素材、材料などは各自で要する必要あり。																	
備考																		
リンク																		
	URL																	